



令和5年10月4日
旭川地方気象台

旭岳の「初冠雪」を観測しました

本日10月4日、旭岳の初冠雪を観測しました。

今年の初冠雪は、平年（9月25日）と比べて9日遅く、昨年（10月5日）と比べて1日早い観測となりました。

●天気概況

10月4日は、北海道の上空1500メートル付近に平年並の寒気が入ったため、旭岳山頂付近では雪となりました。

●初冠雪の観測について

冠雪とは、山頂付近にかぶさるように降り積もった雪のことをいい、初冠雪とは8月1日から翌年の7月31日までに初めて気象官署から冠雪が確認できたことをいいます。旭川地方気象台では、大雪山系の旭岳の初冠雪を記録しています。

ただし、山頂付近が積雪となっても、雲に覆われていたり、視程が悪いなどの理由で、旭川地方気象台から山頂や中腹の状況が確認できない場合は、初冠雪とはなりません。

<参考資料>

昨年（令和4年）の初冠雪	10月 5日
初冠雪の平年値	9月25日
初冠雪の最早（最も早い）	9月 6日
初冠雪の最晩（最も遅い）	10月15日

<早い記録の順位>

1位	9月 6日	大正14(1925)年
2位	9月 7日	昭和22(1947)年
3位	9月 8日	昭和53(1978)年
4位	9月 9日	昭和10(1935)年
5位	9月 9日	明治39(1906)年

<遅い記録の順位>

1位	10月15日	平成16(2004)年
2位	10月14日	平成24(2012)年
3位	10月 8日	平成 6(1994)年
4位	10月 7日	大正 8(1919)年
5位	10月 6日	令和 3(2021)年

【観測開始：1888（明治21）年】